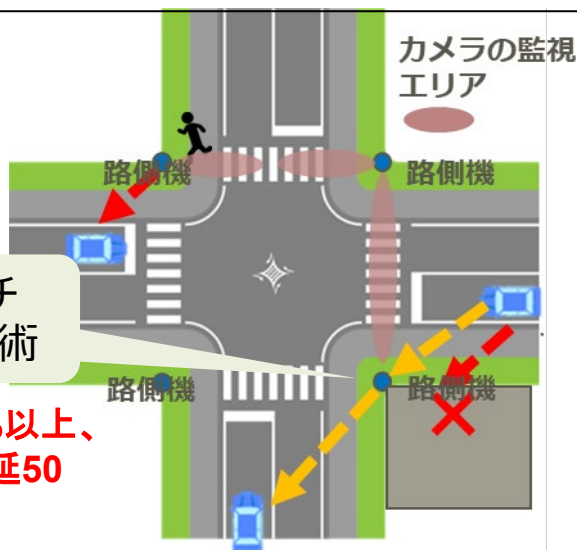


# (基幹課題075) 協調認識の実現に向けた次世代V2X (Beyond 5G-V2X) 通信技術の研究開発

**研究概要**：本研究開発では、協調認識のための5.9GHz帯リアルタイム・マルチホップV2X通信技術の研究開発、およびミリ波帯を用いたV2X通信のためのビームフォーミング技術の研究開発を行い、高いリアルタイム性と安定性を併せ持った通信品質を実現するとともに、事故防止や利便性の向上を実現することを実環境エミュレーションおよびテストコースを用いた概念実証 (PoC) により示す。さらに、国際標準獲得に向けて国際標準提案を実施することにより国内だけでなく海外においても本研究開発成果が活用され、我が国がITS産業の技術開発・社会実装および国際標準化の両面でリードすることを目指す。これにより、周波数の効率的利用と高い周波数 (ミリ波) の活用が可能となる。

5.9 GHz帯 V2X



リアルタイム・マルチ  
ホップV2X通信技術

パケット到達率99%以上、  
エンドツーエンド遅延50  
msec以下を達成

ミリ波帯 V2X



高機能ビーム  
フォーミング技術

周波数利用効率  
2.4倍以上を達成

国際標準提案を実施し、**国際標準を獲得する**

【契約期間】令和5年度 (継続評価予定)

【契約総額】約10億円

【受託者】 シャープ株式会社 (代表研究者)、国立大学法人京都大学、株式会社KDDI総合研究所